

金屋小の「今年の漢字」は・・・

今年で23回目となる師走恒例の日本漢字検定協会主催「今年の漢字」が12日に発表されました。

今回は15万票以上の応募があり、「今年の漢字」に選ばれたのは、7104票(4.63%)を集めた

【北】になりました。弾道ミサイル発射によるJアラートの配信、九州北部での集中豪雨、北海道産ジャガイモの不作、野球界の大谷翔平選手や清宮幸太郎選手による北海道日本ハムファイターズへの注目などが【北】を選んだ理由としてあげられていました。

昨年は【金】でうれしいニュースがもとになっていましたが、今年はちょっと暗い世相が反映されたようです。



さて、今年も金屋小では、6年生から学校でのこの1年間の出来事を振り返った「今年の漢字」のアンケートをとりました。



結果は、【笑】という漢字が4票を集めて、昨年に引き続き1番多かったです。

理由として、子どもたちがあげていたのは、

- ・「授業の時や給食の時に笑顔がたくさん見られた」
- ・「イベントや行事などで、みんなが笑顔に包まれた年だった」
- ・「来年も悪いことがなく、笑っていけたらいいな思った」

などでした。

2番目に多かったのが、【協】という字で、いろいろな人たちと協力して活動できたことが理由となっていました。今年の金屋小は、子どもたちがお互いに協力することで笑顔となった年と言えるでしょう。

そんな中で、なるほどと思った意見があったので紹介します。小林幹汰さんの書いたものです。

この1年でとてもいろいろな行事があって、大変で楽しくて、迷惑をかけるときもありました。それも兼ねて感謝の気持ちを表して【恩】という字にしました。

恩の「因」の部分では、「口」が学校(校舎)で、「大」が大きな出来事という意味を表しています。これは小さい金屋小の中で、大きな行事やいろいろな思い出ができたという意味です。下の「心」という字は、全校の心という意味を表しています。

この1年、全校のみんなの心が1つになった年だとぼくは思いました。なので、【恩】という漢字にしました。



今年はいこれまでの『笑顔』とともに、『ありがとう』があふれる学校を目指してきました。『笑顔』についてはほぼ達成されていましたが、『ありがとう』についてはまだ課題があるなと思っていました。しかし、この文章を読んで、感謝の心の大切さが子どもたちの中に浸透してきていることを感じて、とてもうれしくなりました。

平成29年も、たくさんの保護者・地域の皆様から学校の教育活動を支えていただきました。ありがとうございました。新しい年もみんなの笑顔とありがとうがあふれる学校にします。皆様、よいお年をお迎えください。
(文責:校長)

輝く子どもたち

～ 終業式の発表 ～

「2学期がんばったこと」

【1年】 渡邊 さん

2学期にがんばったことが二つあります。一つ目は、マラソン大会です。がんばって一いを取りました。すごくうれしかったです。二つ目は、ウィンターフェスティバルです。はんこをおすがたいへんだったけど、たのしかったです。

【2年】 平野 さん

2学期にがんばったことの一つ目は、青空マラソンです。2000メートルにちょうせんしました。はしるのが大へんでした。二つ目は、ぜん校テストです。さんすうはほとんどが百点だったのでよかったです。国語は百点が一つでした。3学期は、国語のぜん校テストがほとんど百点になるようにがんばりたいです。さんすうも、2学期より百点が多くなるようにがんばりたいです。

【3年】 間 さん

2学期にがんばったことの一つ目は、あいさつです。2学期は、進んであいさつをがんばりました。とくに、登校は、運えい委員会のように進んであいさつができたので、この調子でがんばりたいです。二つ目は、自学です。Bメニューの問題作りや習ったことのまとめをしました。自分の力になったのは全校テストの問題作りです。3学期は、ほかのBメニューにもチャレンジしたいです。

【4年】 板垣 さん

2学期にがんばったことの一つ目は、お年よりとの交流会です。体が弱かったり、目や耳が不自由だったりする方もいるので、お年よりに笑顔になってもらうためにはどうしたらいいのかを考えました。二つ目は、ウィンターフェスティバルです。わんぱく班でやって、お客さんが笑顔になって出ていったのでよかったです。三つめは、自学のBメニューを5回以上やるのをがんばりました。4年生の教室にはられたことがあるので、うれしかったです。

【5年】 小林 さん

2学期に心に残ったことは、TeNY新潟一番のスタジオで、ぼくが代表してカメラにさわらせてもらったことです。カメラを上げたり下げたりするのがむずかしかったです。テレビ局では、安いカメラでも100万円、高いカメラになると800万円もすることが分かって、びっくりしました。2学期にがんばったことは、収かくフェスティバルです。5年生は、いぬかりやだっこ作業、もみすりをがんばりました。それらを分かりやすく発表することができて、よかったです。

【6年】 渡邊 さん

2学期は、ウィンターフェスティバルと青空マラソンをがんばりました。ウィンターフェスティバルは、わんぱく班で協力して店を開きました。みんなのことを指示するのは大変だったけれど、みんなが自分から進んで仕事をしてくれたので助かりました。どのお店もはく力がありました。青空マラソンでは、3000メートルを走りました。去年は3位だったので、1位になれるようにがんばりました。自分の力を発揮できたのでよかったです。3学期になると、卒業まで残りわずかとなります。だから、1分1秒を大切にしていきたいです。

児童集会「ウィンターフェスティバル」

12月8日（金）、5・6校時に児童集会ウィンターフェスティバルがありました。今年は今までの学年毎の出店ではなく、2つのわんぱくグループが合わさり、全部の7つのお店を出しました。6年生が中心となり、1～6年生みんなで協力して授業時間や休み時間にお店を作りました。

当日は、1年生と4年生がルール説明をする等、それぞれ仕事を分担してお店を出しました。



保護者・地域の方も来校し、子どもたちと一緒にお店を回りました。参加された皆さんからは「とても楽しかった。」という感想をたくさんいただきました。

自ら考え、学び合う子どもを育成するために

今年度金屋小の研修テーマは

自ら考え、学び合う子どもの育成 ～対話的学びを通して～

です。目指す子どもを育てるための授業はどうあればよいか、各担任と理科を担当している教頭、教務が1学期と2学期に1回ずつ授業を公開しました。それを基にして良い点や改善点等を話し合い研修を行っています。

授業参観でもご覧いただいたように現在の授業スタイルはこれまでの一斉授業から、子どもたちがお互いに考えを伝え合うペア学習、グループ学習に授業スタイルが変わってきています。また授業の進め方も



1年算数授業。いろいろな形を隣の人と話し合っ



6年国語授業。お互いの作文を読み合い、自分と違うところを伝え合っています。

①学習課題→②自力解決→③お互いの考えを交流（ペア、グループ、全体）→④まとめ→⑤振り返り

という流れで行っています。これは村上市共通（小・中学校ともに）の取組です。今後も目指す子どもの姿に近づけるよう研修を重ねていきます。

入賞おめでとう

渡邊さん（6年） 「社会を明るくする運動新潟県作文コンテスト」特別賞

横田さん（1年）・時田さん（6年） 新潟県ジュニア美術展奨励賞

台ふきをありがとうございました

金屋在住の羽田クニ様が学校で使ってほしいと手作りの台ふきを8枚寄付してくださいました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。他にも寄付していただける方がいらっしゃいましたら、いつでも学校にご連絡ください。（学校62-2050）